

# 中央市観光振興基本計画

実り豊かな生活文化都市

南アルプス市

昭和町

甲府市

中央市

笛吹市

増穂町

市川三郷町

山梨県

山梨県中央市



## 『実り豊かな生活文化都市』の実現に向けて

中央市長 田中 久雄

今、国内では、地方分権の推進や三位一体の改革などによって、国と地方の関係が見直されている中で、地方自治体には自己決定と自己責任の原則のもと、行財政基盤の強化を図るとともに、高度化・多様化する行政ニーズに的確に対応した創意工夫による行政運営が強く求められています。

このような状況の中、「中央市」の将来像や目指す方向性を定めた「第1次中央市長期総合計画」を平成20年3月に策定したところです。

観光振興基本計画は、この総合計画を上位計画とする観光振興に関する部門計画であり、基本政策の一つである「活力と交流の拠点づくり・連携と挑戦の観光振興」の実現に向け、特色ある地域づくりを進めるための基本的な考え方を示したものです。

### 日本のまんなか山梨のまんなか

中央市は、日本のまんなか山梨のまんなかに位置し、水と緑にあふれる自然環境に恵まれた、県内でも有数の野菜生産地であります。一方、都市的機能も併せ持っており、山梨大学医学部、大型商業店、工業団地などが建ち並び、良好な田園風景と都市空間との調和が織りなす、うるおいとやすらぎが感じられる街です。平成20年度は「全都市住みよさランキング」において、住みよさで全国31位、利便度は2年連続で全国1位という素晴らしい評価をいただきました。

今後、だれもが住みたくなる、住んでよかったと思える「実り豊かな生活文化都市・中央市」の実現に向け、この計画に沿って市民との協働により、積極的かつ着実に取り組みを進めていきます。

結びに、この基本計画策定にあたって、観光振興基本計画策定検討委員の方々をはじめ、市民の皆様の貴重なご意見、ご提言をいただきましたことに対し、心から厚く感謝を申し上げます。



空から見た中央市

<b>序章</b>	4
(1) 基本計画策定の意義	
(2) 基本計画の性格	
(3) 基本計画の期間	

## 観光振興基本計画

 <b>1 基本理念</b>	5
---	---

 <b>2 中央市観光振興の視点</b>	7
---	---

- 1 市民主役の視点
- 2 実り豊かな生活文化都市を売り出す視点
- 3 農業＋観光を売り出す視点
- 4 女性の声を活かす視点
- 5 観光資源を生み出す視点
- 6 観光資源を活かす視点

 <b>3 中央市観光の現状と課題</b>	11
--	----

- 1 中央市観光の現状
- 2 中央市観光の課題

 <b>4 目標値の設定</b>	15
---	----

 <b>5 施策の展開</b>	17
--	----

- 1 市内外に向けた中央市の魅力発信
- 2 時代のニーズを満たす多様な観光の振興

 <b>6 基本計画の推進にあたって</b>	23
---	----

<b>【資料】</b>	25
-------------	----

中央市の3大まつり  
れんげまつり 与一公まつり 稲穂まつり

中央市の観光施設  
四季新鮮収穫広場「た・から」  
道の駅とよとみ  
シルクふれんどりい/特産品 ほか

## 1 基本計画策定の意義

観光は、交流人口の拡大を通じて地域活性化の重要な役割を担うとともに、観光交流の拡大は、心のゆとりを含めて生活の質の向上に大きく貢献します。

また、観光の発展は旅行業、飲食業をはじめ、極めて裾野の広い産業に影響し、地域経済の活性化や雇用の機会の増大など、経済のあらゆる領域の発展に寄与するものです。

こうした中で、21世紀の日本の経済社会の発展のために不可欠な課題であるとし、国では観光立国推進基本法が平成19年1月から施行され、同年6月には観光立国推進基本計画を策定するなど、国を挙げて観光振興に取り組んでいます。山梨県においても観光立国推進基本法の趣旨に則り、計画的に観光振興を図ることを目的に「山梨県観光振興基本計画」を平成20年2月に策定しています。

このような流れの中で中央市においても、多様化するニーズに応え地域の特性を活かした観光振興を進めると同時に、中央市の質の高い魅力を効果的・効率的に発信し、当地域の交流人口の増加につなげ、地域の幅広い関係者が一体となって活性化に寄与する指針となることを目的に、この計画を策定するものです。

## 2 基本計画の性格

この基本計画は、市政運営の基本指針である「第1次中央市長期総合計画」を上位計画とする観光振興に関する部門計画であり、基本政策の一つである「活力と交流の拠点づくり・連携と挑戦の観光振興」の実現に向けた、基本的な考え方を示すものです。

基本的には「市」が主体となる施策を中心に記述していますが、国・県・財団法人、その他特定非営利活動法人（NPO）、民間など、あらゆるものと協働し、地域の自助努力を基本に官民一体となって良好な地域づくりを進めるため、その自主的活動を促進・誘導する役割を果たすものです。

## 3 基本計画の期間

基本計画の期間は、急激な時代の変化に迅速に対応できるよう、平成21年度から平成24年度までの4年間とします。



# 觀光振興基本計畫



## 1 基本理念



# 1 基本理念

日本においては、世界に例を見ない水準の少子高齢化社会の到来が見込まれ、定住人口も減少傾向にあります。そこで、地域活性化のために観光による交流人口の拡大を図り、多岐にわたる経済活動を誘発させることが重要になります。

観光は交流人口の拡大をもたらす大きな要素であり、自分たちの故郷を評価してくれる観光客を迎え入れることが地域の人々にとって大きな喜びとなるなど、交流は人と人とのふれあいを通じて新しい感動や価値を生み出します。

「実り豊かな生活文化都市・中央市」をつくる手段として、観光は有効な手段となります。

中央市は、山梨県のほぼ中央に位置し、水と緑にあふれる自然環境に恵まれ、県内有数の野菜生産地でもあります。そのような魅力を市内外に発信しながら、首都圏とのアクセス条件の良さを活かし、グリーンツーリズムなど、都市農村交流が活発に行える潜在能力が充分整っている地域です。

それらを活かしながら、官民一体となった市民力による地域活性化を促進し、中央市の観光振興を図り、だれもが住みたくなる、住んでよかったと思える「実り豊かな生活文化都市」の実現を目指していきます。





## 2 中央市観光振興の視点

「実り豊かな生活文化都市・中央市」





## 2 中央市観光振興 6つの視点

基本理念に基づき、中央市の観光振興の推進を図るためには、それぞれの施策・事業を進める上で必要な、中央市独自の視点を明確にする必要があります。

このため、この基本計画では、中央市観光振興のための6つの視点を示します。

### 1 市民主役の視点

住んでいる人々が住むことに誇りを持ち、自分自身が訪れたいと思う地域でなければ、他の地域からの来訪は望めません。

市民が誇りや愛着を持ち、生き生きと暮らしている地域、また、来訪者を温かくもてなすことができる地域には、自然と多くの人々が集うようになります。

自らの地域を高く評価し、訪れてくれる人々を迎え入れ、交流することは住民にとって喜びです。

このため、行政ばかりでなく財団法人・NPO法人、民間など市民一人ひとりがともに参画し、ともにつくるという考え方が大切です。

また、市内には多くの優れた地域リーダーが活躍しており、こうした方々の先駆的な取り組みを活かすことも必要です。



与一公まつりに集う人々

### 2 「実り豊かな生活文化都市」を売り出す視点

中央市は、美しい田園風景が広がる一方、大型商業店、工業団地などもあり、自然と都市空間との調和が織りなす潤いと安らぎが感じられる、裾野の広い魅力を持つ地域です。**平成20年度「全都市住みよさランキング」では、住みよさ全国31位、利便度全国1位**という評価をいただきました。

このような特性を活かしながら、都市圏からのグリーンツーリズムや二地域居住の推進を起爆剤にして地域の潜在能力をフルに発揮させ、観光による交流人口の拡大を図ることで「実り豊かな生活文化都市」実現に向けさらなる進化を目指すという視点も大切です。



玉穂地区のショッピングセンター

住み良さ全国31位  
利便度全国1位



### 農業＋観光（農業観光）を売り出す視点 3



スイートコーン  
収穫体験

通年型のグリーンツーリズムや二地域居住の推進を通じて、交流人口の増加・定住人口の拡大などを推進するためには、“**上質な田舎**”である中央市の魅力を売り込み、癒しなどを求める都会の人々のための「**身近な癒しの空間**」としての価値を作り出す視点も必要です。

また、これからの中央市の観光にとって、農業の利用は不可欠です。地元の新鮮な農産物の提供や豊かな食材を活かした地産池消の取り組み、遊休農地の有効利用などを通じ、観光と農業とが深く連携して、新たな魅力をつくり出すことが重要です。

上質な田舎  
身近な癒しの空間

PR

東京都  
など

### 女性の声を活かす視点 4



女性の声を反映

観光客として消費に影響力をもつのは女性です。また、観光地で観光客に接する機会を多く持つのも女性です。

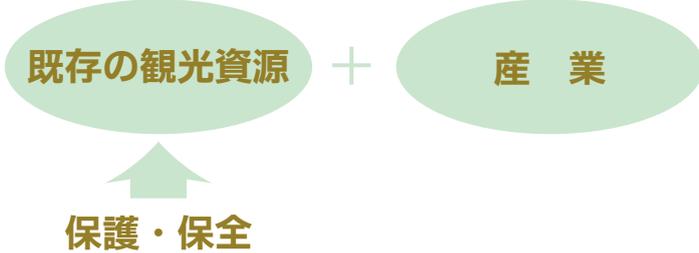
女性のニーズ、そして女性の知恵や感性、もてなしの心、さらに男性と異なる女性ならではの視点などを活かすため、女性に企画段階から参画してもらい、より広いアイデアを積極的に取り入れるなど、女性の視点を反映させることが必要です。



## 5 観光資源を生み出す視点

自然景観などの観光資源を消費するような従来型の観光事業のあり方は見直されつつあります。観光資源を保護・保全しコミュニティ活動に積極的に参加するなど、地域と連携した観光地づくりによる新たな観光事業への変換が求められています。

また、既存の観光資源に多種多様な産業などを組み合わせ、付加価値をつけた新たな観光資源を作り出す取り組みも必要となります。



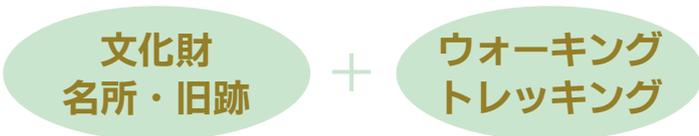
粘土節  
(市指定文化財)

## 6 観光資源を活かす視点

中央市には、国指定の重要文化財2点、県指定文化財4点を含む34点もの指定・登録文化財があります。

また、**山の神千本桜**に代表される隠れた桜の名所や、甲斐源氏の一族で平安時代から鎌倉時代にかけて当地域を治めた**浅利与一公墓所**など、市外に誇れる名所・旧跡がたくさんあります。

これら名所や文化財を、ウォーキングやトレッキングなどの軽スポーツと組み合わせ、知的好奇心+健康志向などニーズに即した付加価値をつけるなど、既存の資源の有効利用を図ることができる視点も必要です。



山の神千本桜  
トレッキング



歓盛院 木造薬師如来坐像 (重文)



浅利与一公墓所 (県指定文化財)



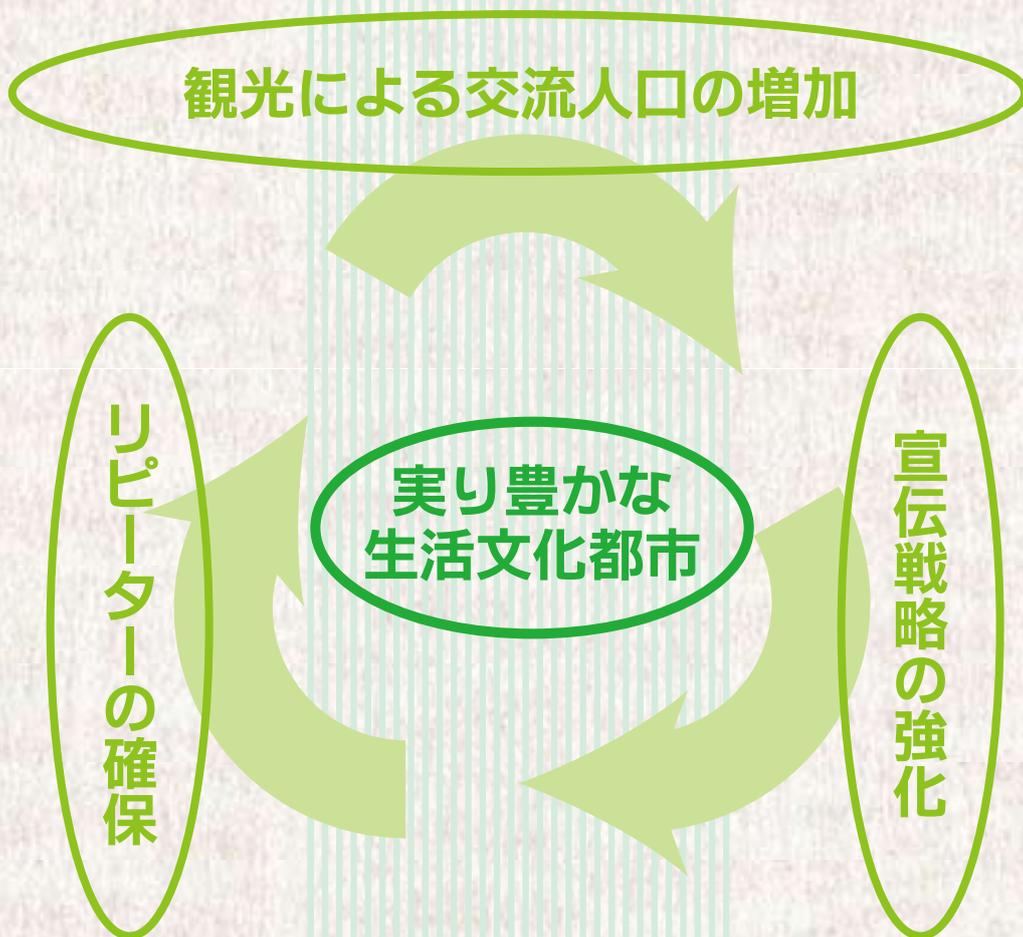
八幡穂見神社本殿 (県指定文化財)



玉穂地区 乙黒桜



### 3 中央市観光の現状と課題





# 3 中央市観光の現状と課題

## 1 中央市観光の現状

中央市には集客が計れる公共施設として

- 四季新鮮収穫広場「た・から」
- 道の駅とよとみ
- シルクふれんどりい
- シルクの里公園

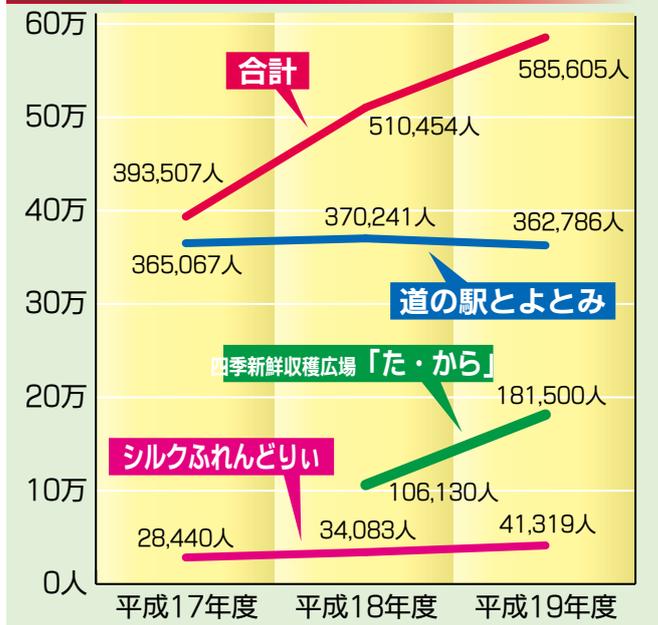
などがあげられます。

「た・から」以外の施設は、平成18年9月から財団法人シルクの里振興公社を指定管理者に指定し、観光客の交流人口につなげています。利用実績は以下の通りです。

### 1 集客数の推移

施設の集客数は「グラフ1」のように、道の駅とよとみ以外は増加傾向にあります。直売用の農産物は生産者の高齢化に伴い減少傾向にあります。今後は、将来を見据え、農業事業との協力やNPO法人・民間などとの協働による十分な農産物の確保が課題となっています。

グラフ1 集客数の推移



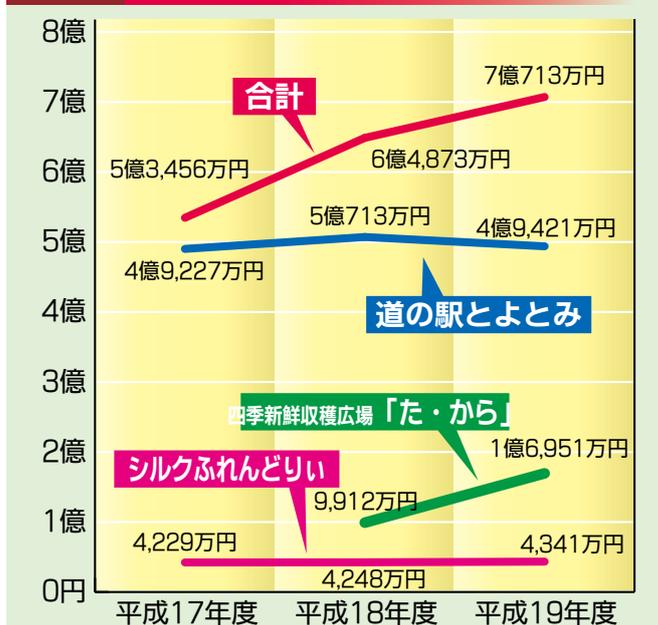
### 2 売り上げ消費額の推移

「グラフ2」のとおり、中央市に訪れる人の増加に比例し、消費額も増加傾向にあります。



「た・から」店内

グラフ2 売り上げ消費額の推移



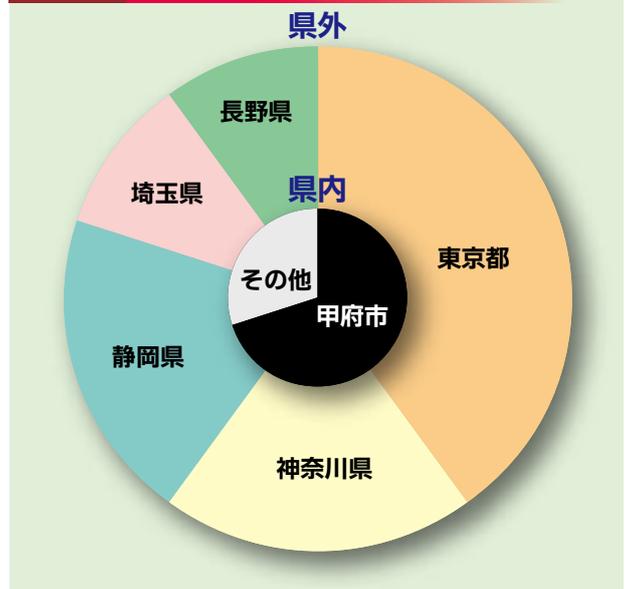
### 3 市外観光客の特徴

中央市に訪れる観光客は、農畜産物を買求める方々が中心で、日帰りコミュニケーション型のリピーターの集客が特徴です。

市外からの観光客を都道府県別に見ると、ツアー客を中心に東京都40%と神奈川20%で過半数を占め、以下静岡20%、埼玉10%、長野10%の順で、首都圏の頻度が高くなっています。

県内市町村では、甲府市からの買い物客が全体の70%を占めています。

グラフ3 市外観光客の割合



## 2 中央市観光の課題

### 1 観光による交流人口の増加

中央市にとって、観光による交流人口の増加に対する課題は以下の通りです。



「た・から」で情報発信

#### 課題

- 宿泊施設の不足
- 観光資源の知名度の低さ
- 県内からの集客
- 首都圏からの集客
- リピーターの増加
- 将来的に懸念される農地と農産物の減少

#### 対策

- 積極的なPR活動
- 多種多様なイベントの開催
- 周辺観光地と連携した周遊観光の提案

#### ● 通年型のグリーンツーリズムを可能にする地域の受け皿づくり

- 利便性の高い道路交通網を最大限に活用
- 十分な農産物の確保
- 通年で収穫体験を行える圃場の確保 (遊休農地活用)
- 首都圏のニーズに応える農業観光の推進

連携

農業施策

農政事業

NPO法人

民間

連携

## 2 リピーターの確保

中央市を訪れる市外からの観光客の状況を見ると、甲府市をはじめ近隣町村からの農畜産物の買い物客が大多数の7割を占めています。

その他、首都圏からの観光ツアーで訪れる観光客も多く、全体の3割近くであることから、近隣からのリピーター客が多いことがうかがえます。

リピーターは、情報発信に多大なコストをかけなくても、安定的に訪れてもらえるとともに「口コミ」という情報発信源になります。

今後は、「口コミ」で一層の浸透をはかるため、新鮮で安全・安心な農畜産物にこだわり、提供し続けることができる体制づくりが急務になってきます。

## 3 宣伝戦略の強化

市内外に中央市の魅力を伝える宣伝活動は本市のイメージをさらに高めるとともに観光振興をソフト面から支える重要な柱です。

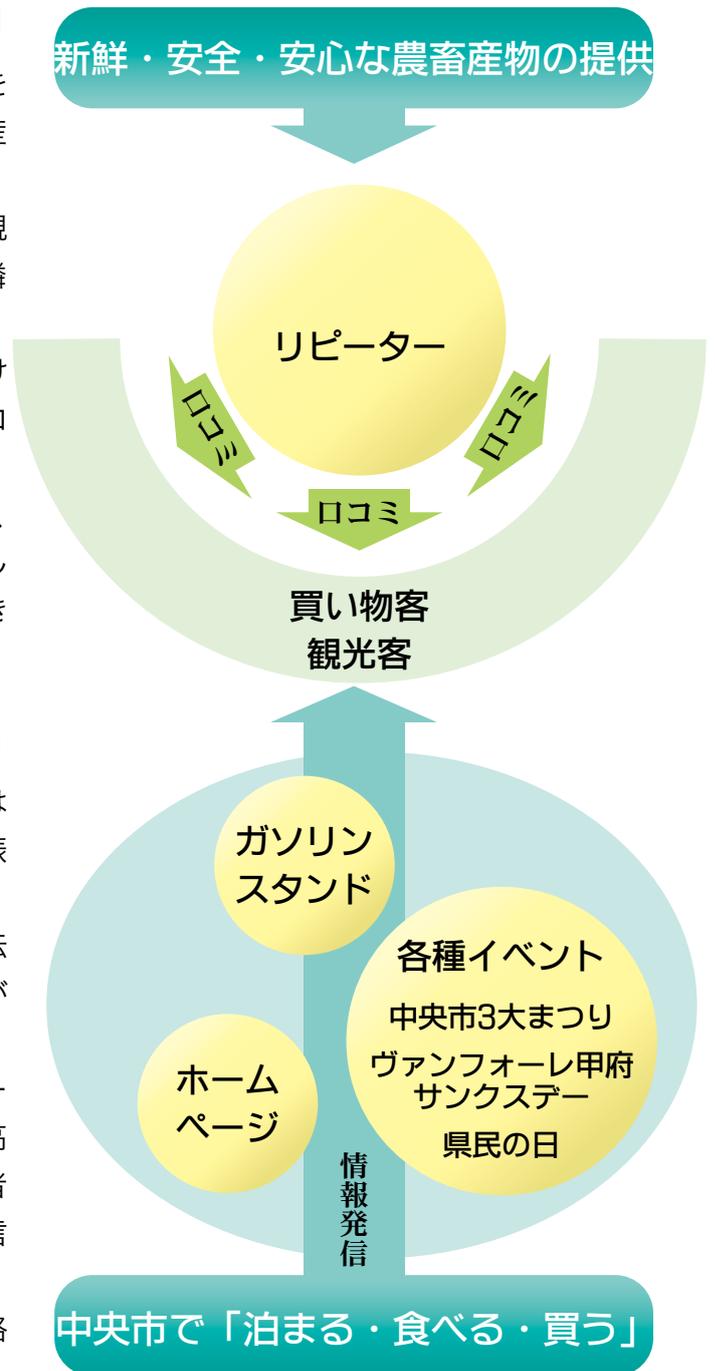
ターゲットや内容、媒体などを絞り込んだ宣伝戦略を強化し、効果的な情報発信をする必要があります。

中央市を訪れる観光客の交通手段はマイカーが8割以上と多いことから、ガソリンスタンドや高速道路のサービスエリアなどで、自動車利用者に対して「泊まる・食べる・買う」などの情報発信を強化することが重要となります。

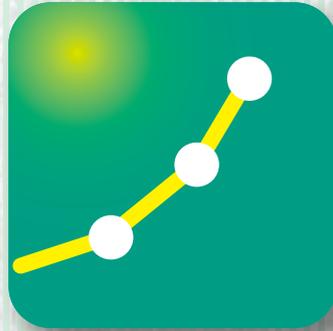
中央市の交流人口増加につながる宣伝戦略を具体的にあげると以下の通りです。

- ホームページや商工会等とリンクした情報提供などを充実させアクセス頻度を高める
- 各種イベントを有効活用する
  - 集客が望める中央市3大まつり
  - 全国規模でサポーターを集めるサッカーリーグヴァンフォーレ甲府サンクスデー
  - 県民の日 など

また、安全・安心・安価な高品質な農畜産物を提供し続けることによる、「口コミ」効果を最大限活用し、根強い情報発信を行います。



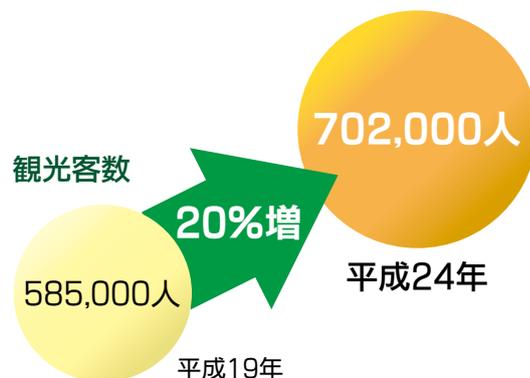
ヴァンフォーレ甲府サンクスデーの特産品プレゼント



## 4 目標値の設定

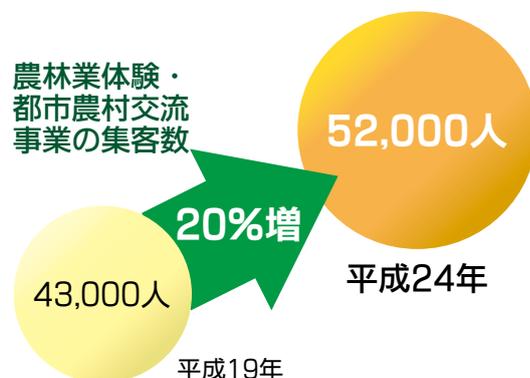
# 4 目標値の設定

中央市の観光振興を進めていくうえで課題となっている先の3項目を解決することによって、市の将来像「実り豊かな生活文化都市」の実現に向けた、平成24年までの目標値を次のとおり設定します。



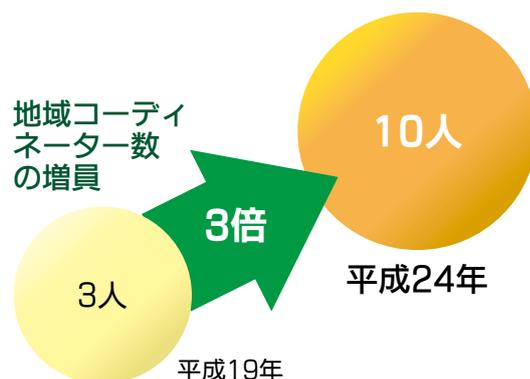
## 1 観光客数20%増

観光客数を平成24年度までに702,000人にするを目標にするとともに、毎回訪れる固定客の増加を目指します。



## 2 交流事業の集客数20%増

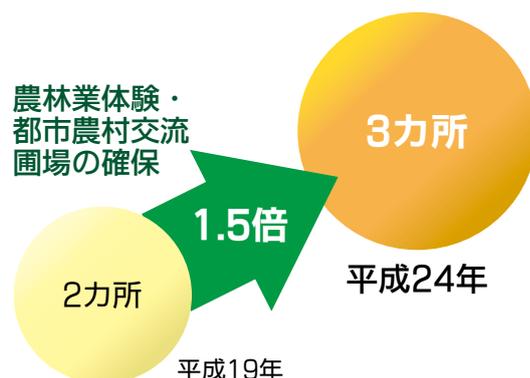
農林業体験など、都市農村交流事業の集客数を平成24年度までに52,000人にするを目標とし、一年を通して事業を行える体制を創意工夫し、リピーター客の増加を目指します。



## 3 地域コーディネーター数3倍

ポスピタリティの向上と、併せて都市住民と中央市を結びつける地域コーディネーターの登録を、平成24年度までに7名増の10名とすることを目指します。

- ※ポスピタリティ…「おもてなしの心」
- ※地域コーディネーター…「地域資源の発掘や商品化、地域の受け入れ態勢の整備、旅行代理店との連携や交渉等」など、都市住民と農村を結びつけるコーディネート役を担う人材。



## 4 交流圏場1.5倍

農林業体験など都市農村交流事業の可能な圏場を、平成24年度までに、3カ所確保することを目指します。



## 5 施策の展開

中央市らしさの実現



実り豊かな生活文化都市

# 5 施策の展開

基本目標を達成するため、施策・事業を「市民主役の視点」など6つの視点に立って、体系的・戦略的に展開します。

## 1 市内外に向けた中央市の魅力発信

中央市は、首都圏に近い位置にあり、中央自動車道、中部横断道などの高速道路網や、新山梨環状道路などの道路交通網の利便性に恵まれています。これら立地の好条件を最大限に活かし、昨今、農村交流に『追い風』が吹いている状況を活かしながら、都市圏に向けリアルタイムに旬なグリーンツーリズムなどの情報を積極的に提供します。



新山梨環状道路

## 2 時代のニーズを満たす多様な観光の振興

時代のニーズはまさしく、多種多様なグリーンツーリズム(都市農村交流)に『追い風』が吹いています。この機会を逃すことなく、通年可能な収穫体験メニューを拡大し農業観光の充実を図ります。

また、地元ならではの視点で隠れたスポットや楽しみ方を盛り込んだ着地型観光を充実させ具現化していきます。

具体的には、市内宿泊施設を利用した滞在型の市民農園(クラインガルテン)の推進や、平成20年度から始まった、「子ども農村漁村プロジェクト」など、人的交流が活発に出来る受け皿づくりを構築し、何度も通っていただけるような魅力ある地域づくりを進めていきます。

# 1 市内外に向けた中央市の魅力発信

## 1 効果的な情報発信

- 中央市ホームページを活用したイメージアップ戦略
- 安心・安全・安価な農畜産物を提供し続けることによる「口コミ」戦略
- 中央市3大まつり等イベントを通じたPR活動
- 富士の国やまなし館を活用した中央市特産品のPR
- 富士の国やまなしネットを活用した旬の観光情報の提供
- 新聞、テレビ、雑誌等、マスメディアを活用した効果的・戦略的なPRの展開
- ターゲットを高速道路のSAに絞ったフリーペーパーなどの宣伝戦略
- 民間企業と連携した集客事業の展開
- より充実させた新中央市観光パンフレットの作成

### 主要な施策・事業

- 今後も引き続き、安心・安全・安価な農畜産物を提供し続けることによる、良好な「口コミ」戦略を継続していく。
- 中央市HPと商工会や民間企業体とのリンクを充実させアクセス件数の増加を目指す。
- 富士の国フィルムコミッションの積極的な活用  
映画やテレビなどの映像を通じて中央市のイメージアップと誘客を図るため積極的に活用する。
- 中央市3大まつりに地産地消など、地域自慢コーナーを設け、本市の良さをPRしていく。
- 都市農村交流に興味を持つ方々にターゲットを絞り、本市の魅力を効率的、効果的に発信し情報をリアルタイムに提供する。



中央市のホームページ

## 2 田舎暮らしの促進

農政事業と協働しグリーンツーリズム（都市農村交流）をはじめとする農業観光の確立を目指し、通年可能な収穫体験圃場の確保や、二地域居住型の推進など、既存の組合組織に働きかけ実施可能な体制づくりや運営サポートを積極的に実施し、都市の人々が来たくなる街、住みたくなる街を目指します。

### 主要な施策・事業

#### ■二地域居住（都市農村交流）の推進

本市の交流・定住人口を増やすため山梨県主催で富士の国やまなし館などで開催されるやまなしライフに関する相談会に参加し、本市の良さを積極的にPRしていく。

併せて、希望者には市民同様のサービスが可能になるように検討していく。

#### ■受け皿づくりの推進

遊休農地などを活用し、都市圏のグリーンツーリズムや市民農園などに興味のある方々を迎えられる受け皿づくりを、市民、公社、NPO法人、民間企業の協力を得ながら作りあげ（通年型のツーリズム）、首都圏からの観光客の誘客につなげる。



ナスの収穫体験

## 2 時代のニーズを満たす多様な観光の振興

### 1 ホスピタリティの向上

- 観光客に快適な印象を与えるよう、市内の環境美化を進めます。
- 市民のもてなしの心を醸成させる取り組みを行い、観光客への対応の向上を図ります。
- 高齢者や障害を持つ人をはじめ、児童や外国人などの安全面や利便性に配慮した、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた地域づくりを進めます。
- 地域のよさを説明するボランティアガイドの充実を図ります。

#### 主要な施策・事業

- おもてなし講習会の開催  
観光従事者などを対象におもてなし講習会を開催し、受け入れ側のおもてなしの向上を図ります。
- おもてなしの推進(民間のノウハウの有効活用)  
指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを導入することにより観光客への対応の向上を図ります。
- 県内外から観光客に対してサイン計画を再度見直し、安全面や利便性に配慮したユニバーサルデザインを取り入れます。



「た・から」のトマト詰め放題

## 2 多様な観光の舞台づくり



スイートコーン  
「ゴールドラッシュ」



トマトのブランド  
「ポモディア」



「恋するトマト大福」



サクラを辿って頂上まで  
歩く「山の神千本桜」

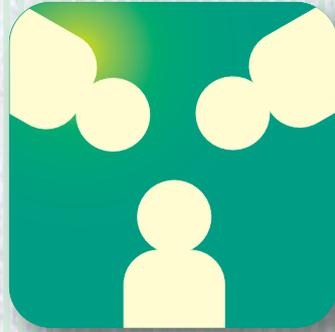
- 中央市固有の自然や文化・歴史などを活かした既存施設の整備を促進するとともに、観光客の利便性や快適性に配慮した事業の展開を図ります。
- グリーンツーリズムなどのモニターツアーを開催し、中央市の新たな魅力として情報発信するとともに、農山村地域の多様な資源を活用した都市住民との交流活動を進めます。
- 中央市の豊富な森林がもたらす癒し効果の活用や、農林業を体験できる場の開発を進めます。
- 中央市の3大祭り（春・夏・秋）を活かし、旬の特産品をPRするほか、特徴ある地域づくりを進めます。
- 地産地消にこだわった地域づくりを推奨し、他地域との差別化を図ります。
- 旅行会社などへの積極的な情報提供や営業活動を展開し、農業観光を推奨した着地型の旅行商品づくりを促進します。
- 観光客の多様化するニーズに応えられるよう、創意工夫を凝らし、新たな観光資源の発掘や商品化を推奨します。



れんげまつり

### 主要な施策・事業

- 中央市都市農村交流の促進  
年間を通じ、グリーンツーリズムを推進するため、農業体験等を中心とした四季折々の体験観光プログラムが出来るよう、施設の受け皿づくりの取り組みを、市民、公社、NPO法人、民間会社を取り込み協働して開発・普及に努めます。  
併せて、年間を通して観光プログラム等を作成し実施していきます。
- エコツーリズムの推進  
本市の豊富な森林が有する癒し効果を活かし、林業体験等の普及を推進します。
- 健康ニーズに即した観光事業促進  
山梨医大と連携した健康事業と地域ICT事業等組み合わせた健康ニーズに即した観光事業を推進します。
- 効果的・効率的なPR  
首都圏をターゲットに二地域居住の促進をはかり、高速道路など、恵また立地条件をセールスポイントに、各種イベントや富士の国やまなし館などを活用しながら、ターゲットを絞った効果的・効率的なPRを実施します。
- 地域観光コーディネート推進  
到着地で様々なメニューを楽しみたいという観光客のニーズに応えられるよう、地元だからこそ知りえる観光素材を提供する着地型観光を推進し、オンリーワンの素材づくり、受け皿づくりを促進します。
- 観光検討委員会(仮称)の開催  
今後の観光振興のあり方について検討するため、関係者や学識経験者などで構成する検討会を随時開催します。



## 6 基本計画推進にあたって

## 6 基本計画推進にあたって

観光は、市の地域活性化策の一つとして重要な役割を担うとともに、それによって、もたらせられる交流人口の拡大は地域経済の活性化や雇用の機会の増大など、経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与するものです。

今後は、官民一体となって市民力を結集した観光振興に取り組んでいく必要があります。

また、民間やNPO法人の知恵と力を活かしながら、産学官が協働して観光振興事業を総合的に推進する組織を設立し、より有効な地域活性化策を速やかに展開させ、市内外の集客人口の効率的・効果的な誘致を進めます。

### 市民、NPO法人など

地域のよき理解者として、住んでいる地域に誇りと愛着をもち、地域づくりに積極的に参加するとともに、地域の魅力を多くの人に伝えていただきます。

### 農事組合法人 た・から (財)シルクの里振興公社

地域に根付いた独自性を活かし、農業を中心とした地域資源を相互に連携させた農業観光の確立に向け、受け皿づくりや農業関連イベントなどを充実させていきます。



スイーツコーン収穫祭

### 民間

民間のノウハウを活用し集客イベント事業への新規参入など地域に新たな活力を生みだします。



イチゴ狩り

### 山梨県

市との連携を基本に、誘客活動を国の内外において行うとともに、観光振興のために新しい仕組みづくりや、やる気のある地域の取り組みに対し、支援、協力を行います。

また、県全体の観光振興に関して広く調査・分析を行うとともに、全県的、広域的な施策を推進します。

### 中央市

多種多様なPR宣伝活動やメディアを活用した魅力発信に努めるとともに市の地域活性化策の一つとして重要な観光振興施策を効率的・効果的に推進します。

観光事業を計画的に進めることにより「実り豊かな生活文化都市・中央市」の実現に向けて具体的な実施計画を推進します。



桃の収穫体験

## ■ 中央市の3大まつり

### れんげまつり 4月29日(昭和の日) 玉穂ふるさとふれあい広場

れんげが満開の毎年4月29日に行われるイベント。熱気球搭乗体験、お笑いライブショーなど盛りだくさん。会場周辺のれんげ畑の中には、熱気球の乗船体験や、バーベキューコーナー、大根抜き取りなど、美しいれんげの花を見ながら楽しめます。そして、この「れんげまつり」のもうひとつの見所、毎年多くの見物客やカメラマンが集まる虚無僧行列の再現もあります。



お笑いライブショー



井之口笠踊り

### 与一公まつり 8月14日 豊富農村広場

豊富地区の歴史上の偉人で遠矢の名手と伝えられている浅利与一義成公にちなんだお祭り。

会場の豊富農村広場では与一太鼓演奏会、チャレンジコーナー、アトラクション、盆踊り大会、サッカーVF甲府選手とのふれあい会、抽選会などさまざまな催しでにぎわいます。祭りのフィナーレには花火大会。夏の夜空に約3,000発の花火を打ち上げます。会場の至近距離から打ち上げられる花火は迫力満点です。



たのしいステージ



迫力満点の花火

### 稲穂まつり 11月3日(文化の日) 田富ふるさと公園

新旧住民の融和とふれあいを求め、連帯意識の高揚を図るため、毎年11月3日に田富ふるさと公園で開催される恒例のお祭りです。当日は、保育園児によるマーチングや小学生の集団演技、ふれあいステージ、子供ショーのほか各種団体による出店コーナーなど数多くの催しが行われ、会場を盛り上げます。

田富地区に、武田信玄の時代から伝わる築堤工事に従事した人たちが歌った作業歌「粘土節」も披露され、子どもたちへと受け継がれていきます。



粘土節を披露



保育園児によるマーチング

## ■ 中央市の観光施設

### 四季新鮮収穫広場

#### 「た・から」農産物直売

平成18年5月にオープンした農産物直売所「た・から」は、中央市の田から、畑から、土の恵みと人の恵みが勢ぞろい。獲りたて、もぎたて、摘みたて、掘りたて、つくりたて。いつも新鮮な季節の野菜や果物が並んでいます。



「た・から」店内



「た・から」

### 道の駅とよとみ

中央市自慢の特産品や工芸品を販売している「道の駅とよとみ」は、国道140号線沿いにあり、ドーム型の緑の屋根が目印。中央市を訪れる人々を迎え、中央市と都会の人々が交流する拠点です。恵まれた自然、田園の景観を背景に、「中央市らしさ」をPRしています。最先端の多機能型の交流促進センターで、インターネットや各種体験も楽しめます。



農産物直売所では、朝捕りの野菜やシルク工芸品などの特産品、地元企業製品が勢ぞろい。「与一味工房」では、地元で飼育されたこだわりの豚肉を材料として、ハム、ソーセージなどの加工と販売をしています。また、ソーセージなどの手作り体験も楽しめます。



道の駅とよとみ



与一味工房

### シルクふれんどりい

豊富地区の「シルクふれんどりい」はシルク工芸館とふれあい館を併設した宿泊施設で、日本有数の高アルカリ性硫酸温泉が利用できます。工芸館ではつむぎ織り、陶芸のほか繭玉を使ったシルクフラワー制作などの工芸体験ができます。レストランシルクも人気です。



シルクふれんどりい



身も心も癒される温泉



シルクフラワーの制作

## 豊富郷土資料館



豊富郷土館

豊富郷土館は豊富地区で発掘された埋蔵文化財や民具・農具など5,000点以上を収集・展示しています。シルクの里公園では、繭玉の巨大遊具が子どもたちに大人気です。

## シルクの里公園



巨大遊具が人気のシルクの里公園

## 特産品

ナス  
トマト  
キュウリ



ワイン「夢」と焼酎「恵」

近年、中央市の農業では、稲作から野菜を中心とする近郊農業への移行が進んでいます。田富・玉穂地区の米やトマト、ナス、キュウリ、豊富地区のスイートコーンが有名です。また、これらの農産物や畜産物を利用した加工品の生産も進められています。豊富地区で飼育されたこだわりの豚肉を使った手作りハム、ソーセージをはじめ、コーン100%焼酎「恵」、ブドウとコーンを使ったワイン「夢」など新製品も次々と開発されています。



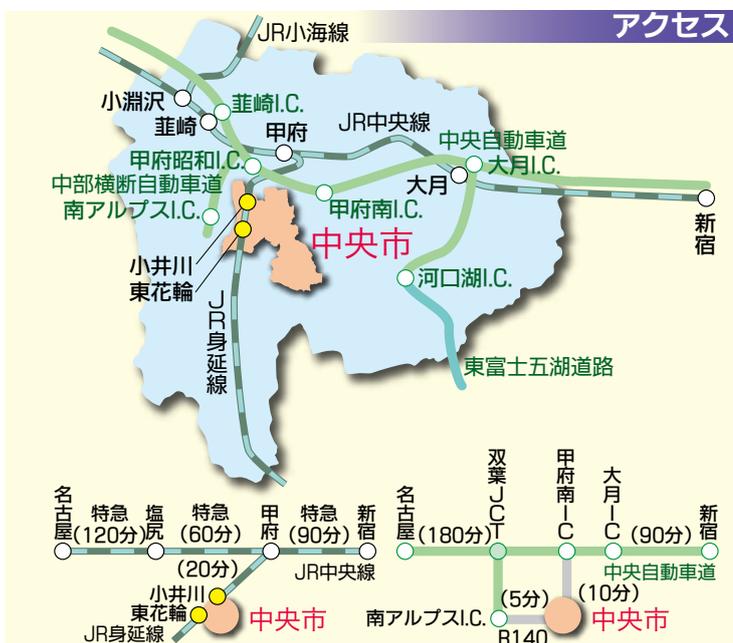
手作りハム・ソーセージ



たから米「ひのひかり」



与一味工房のポイルコーン



中央市観光振興基本計画策定検討委員会		
会長	田中 一臣	市議会産業土木常任委員会委員長
委員	森泉 武紀	市自治会長会会長
	河西 正	市農業委員会会長
	浦田 勉	市商工会会長
	松村 利彦	市商工会青年部長
	中沢 源太郎	市文化財保護審議会副会長
	加藤 正之	識見者
	塚原 サツキ	市農業委員
	土屋 美津江	農村女性アドバイザー
	石川 美子	うまいもんクラブ代表
	河原崎 悟	プラン・ドゥ・プラン甲府営業部長
	吉田 泉	副市長
	江間 政雄	農政観光部長
	河西 則喜	農政課長
事務局	中央市農政観光部商工観光課	



春



夏



中央市



秋



冬



市の花・れんげ草



市の木・桜



市の鳥・しらさぎ

実り豊かな生活文化都市

中央市観光振興基本計画

発行日 平成 21 年 3 月

編集・発行

山梨県中央市役所  
農政観光部商工観光課  
〒400-1594  
山梨県中央市大鳥居3866  
☎055-274-8582

印刷 株式会社 山梨新報社